



新羽小だより

令和4年(2022年)5月31日

第577号

横浜市立新羽小学校

Tel 543-8871 Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>

令和4年度 新羽の授業づくり

校長 佐藤 恵子

5月28日「にっばの日」の運動会には、ご多用の中たくさんの保護者の方にご参観いただき、誠にありがとうございました。また、準備や片付けをしていただいた地域のボランティアの皆様、当日の保護者受付や誘導を担当していただいたPTAの皆様にも心より感謝申し上げます。皆様の温かいお力添えにより運動会を開催することができました。今年度は、開催方法を工夫して月に一度「にっばの日」を設け、保護者の皆様にお子様の学習の様子をご覧いただく機会としたいと考えております。6月の「にっばの日」は17日と18日の授業公開です。皆様のご参観をお待ちしております。

さて、今年度のGIGA端末使用について、児童全員分の個人アカウントがようやく揃い、タブレット使用開始の準備が整いました。今後ICTを使った学習活動をさらに進めてまいります。令和元年より横浜市の学校ではICTの環境整備が急ピッチで進められ、昨年度、ついに一人一台GIGA端末の貸与が実現しました。新羽小ではロイロノートスクールやグーグルクラスルームなどの機能を使って、学習のねらいに合わせていろいろな場面でGIGA端末を活用してきました。写真を撮ったり動画を作ったり、先生から課題をもらったり提出したりと、基本的な操作からスタートし、学年末には調べ学習や表現活動のツールとしてしっかり活用できていました。GIGA端末の良いところは、自分の興味や自分の学習にしっかり寄り添ってくれるところと即時の通信機能にあります。子どもたちの「個別最適な学び」と「人とつながる学び」の充実を目指して、今年度も教職員一同授業実践を重ねてまいります。



新羽小学校では、今年度の授業づくりの重点研究テーマを次のように設定しました。

「自ら学び、ともに学び合う子どもの育成
～自分の思いを人に伝える力を育成する授業づくり～」



自分の思いを人に伝える力は、社会を生き抜くための大切な能力の一つです。みんなが自分の思いを伝えるためには、自分も友達も大事にする気持ち、自分と異なる考えへの好奇心、いろいろな立場に寄り添う姿勢、じっくりと話が聞ける態度など、広い心で多様性を認める温かな風土が不可欠です。それらを集団づくりの土台としながら、新羽らしい授業改善を図ります。また、自分の思いを伝える力を育成するためのICTの有効活用についても研究を進めます。ノートに鉛筆でしっかりと書く活動、みんなで声をそろえて音読する活動、顔を合わせて話し合いをする活動などいわゆるアナログな活動がふさわしい場面と、デジタル機器を生かした活動が有効な場面を見極め、授業のねらいに応じた授業スタイルを追求していきます。また、新羽中と協力して小中の教員同士でお互いの授業を参観する機会も設けます。新羽の良さを生かした学校教育を目指し、授業改善を進めてまいります。